
至学館大学避難経路

目次

- 避難場所と避難経路とAED、防災倉庫設置場所・・・1
- 各建物の避難経路・・・2
- 心肺蘇生法(含むAED)・・・15

避難経路図



至学館大学

総務課・学務課

PHONE 0562-46-1291(代表)

避難経路と指定避難場所

- AED設置場所
- 保健室
- 防災倉庫

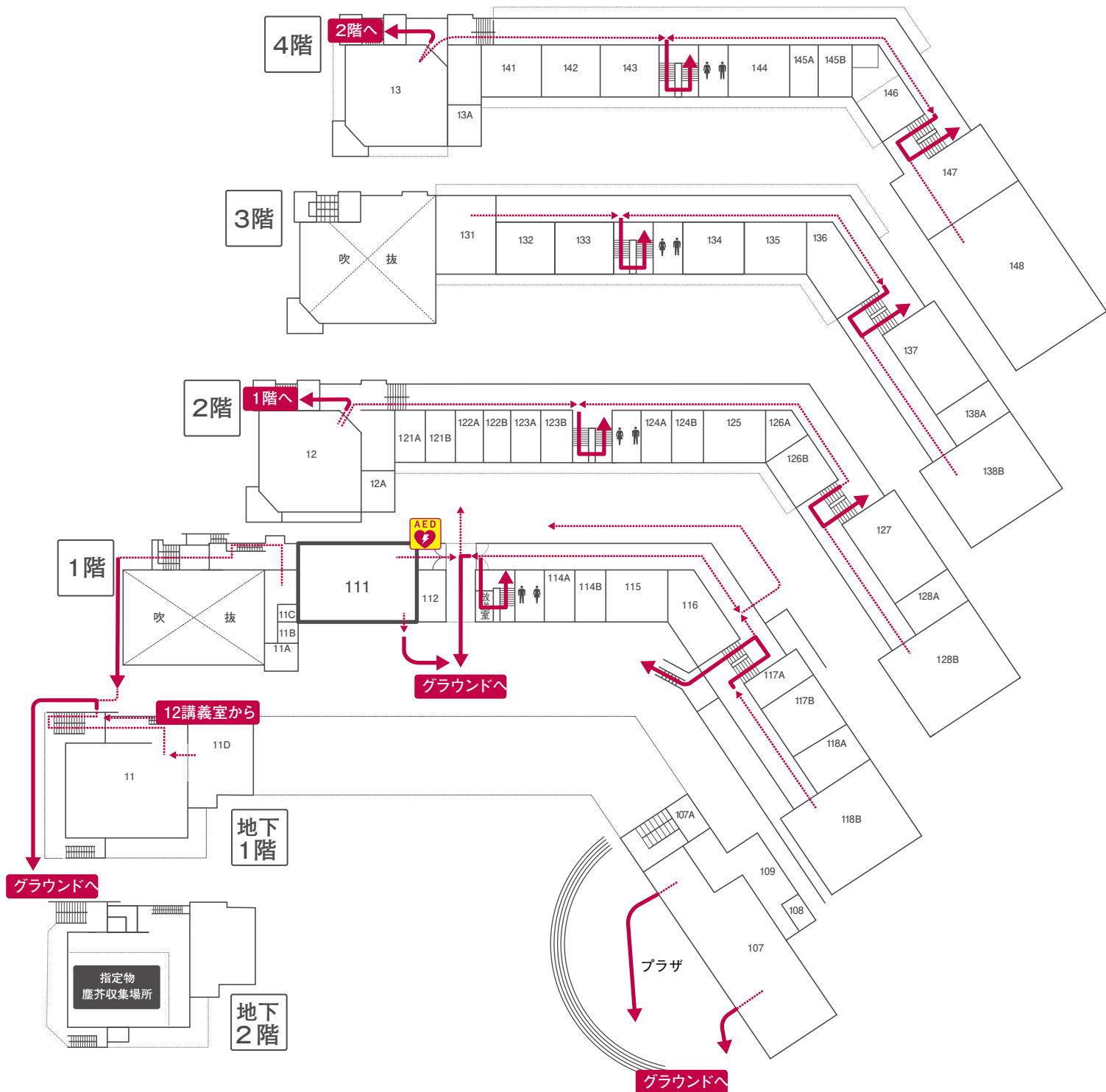
- 避難場所
- ➔ 避難経路
- AED設置場所
設置場所詳細
- 保健室
- 防災倉庫
- 警備室(正門・東門)





1000号館

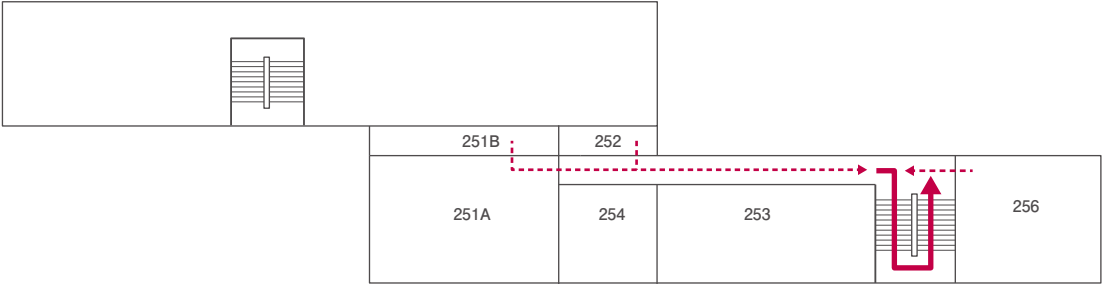
- 学生サポートセンター ○ 入試・広報課 ○ 第二体育館
- 学生談話室 ○ 教職支援室 ○ 学生食堂 ○ 情報処理演習室
- 学長室・副学長室(学部長室) ○ コミュニケーション研究所



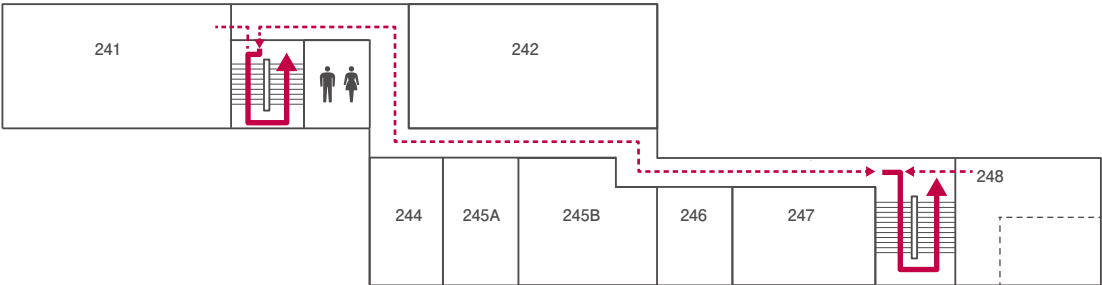
2000号館

○ 学生進路支援室 ○ 情報センター室 ○ 情報処理演習室

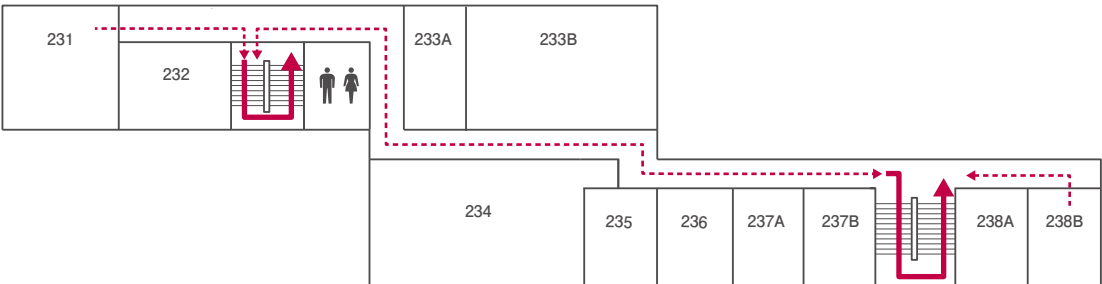
5階



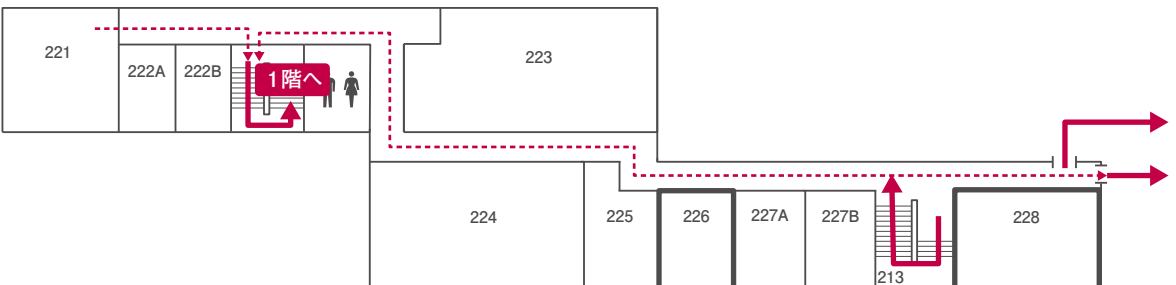
4階



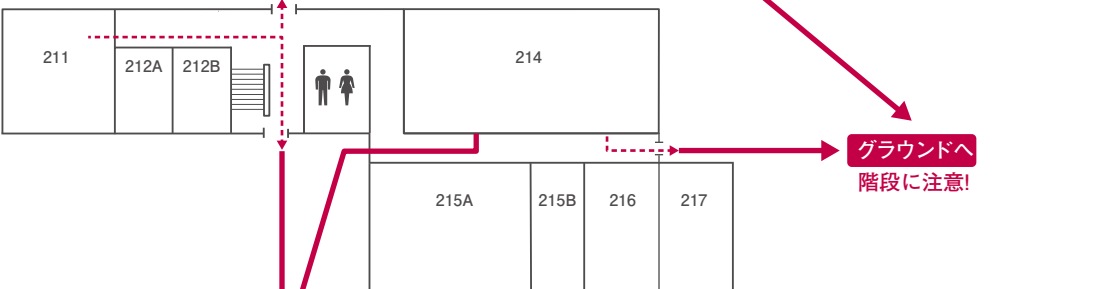
3階



2階



1階



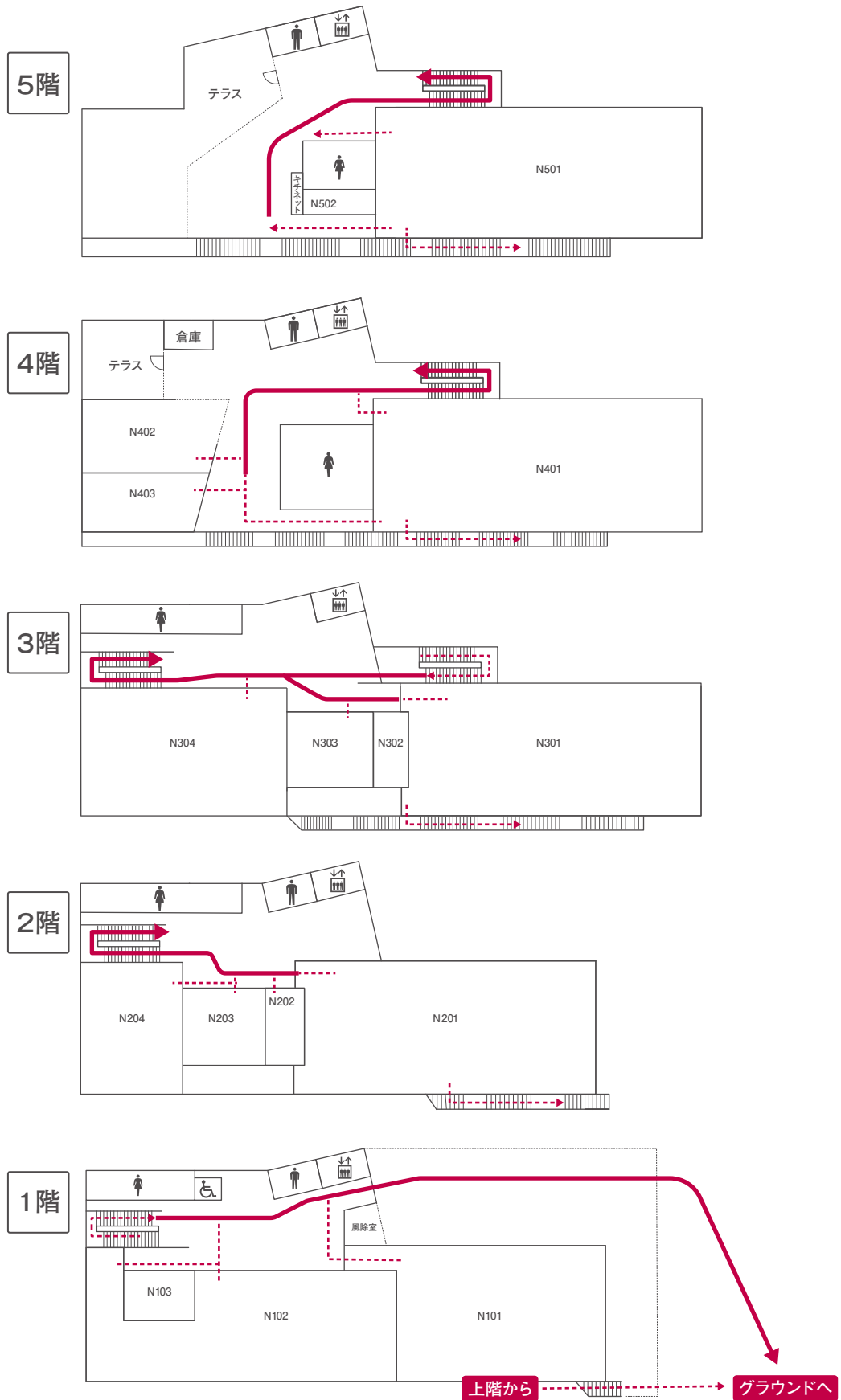
グラウンドへ

グラウンドへ

グラウンドへ
階段に注意!

2001号館

- 調理実習室
- 食品加工実習室
- 栄養指導・標本室
- 会議室



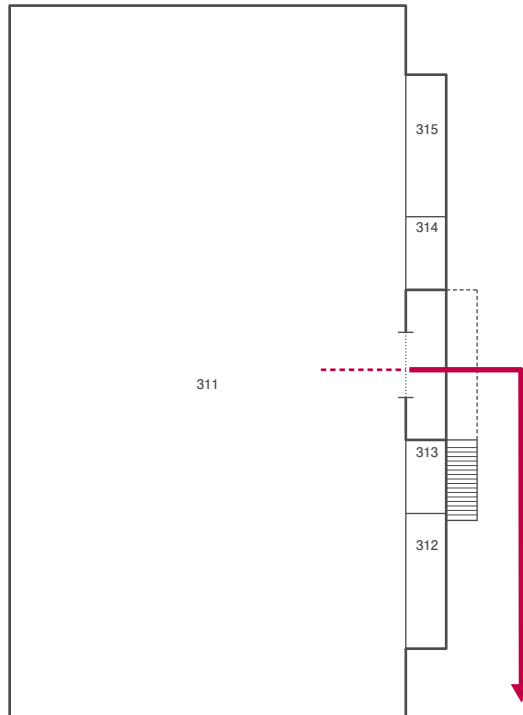


3000号館

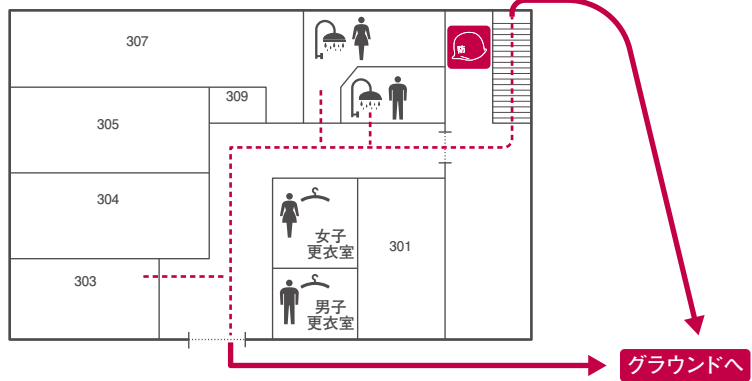
○ 第一体育館 ○ 防災倉庫 ○ 書庫

第一体育館

1階



地下1階



4000号館

学生寮

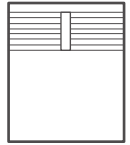


5000号館

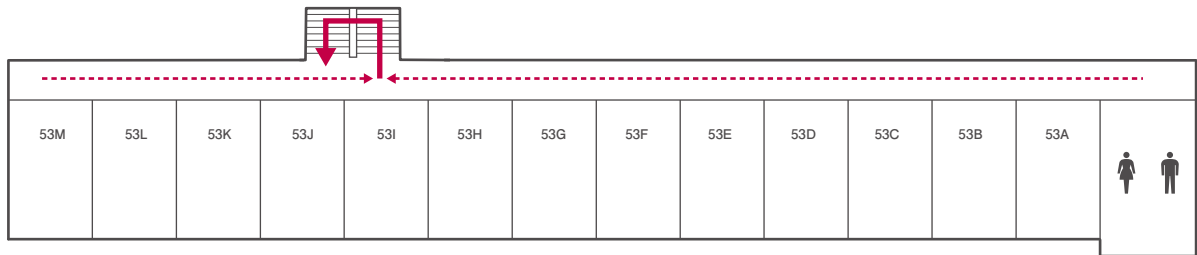
研究棟

- 研究室 ○ 非常勤講師控室
- 学生会室 ○ 組合室

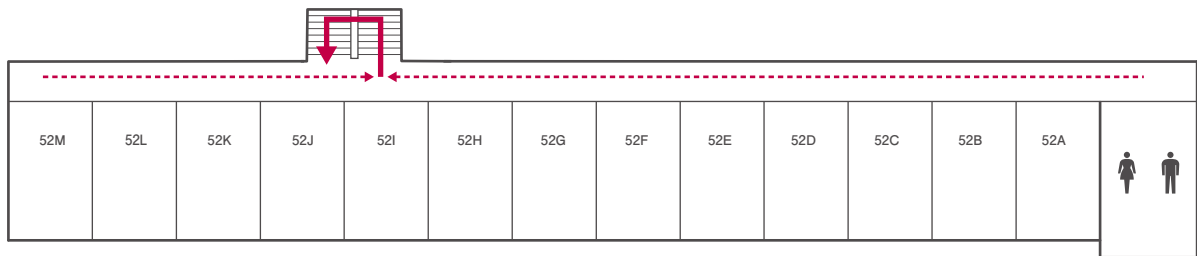
4階



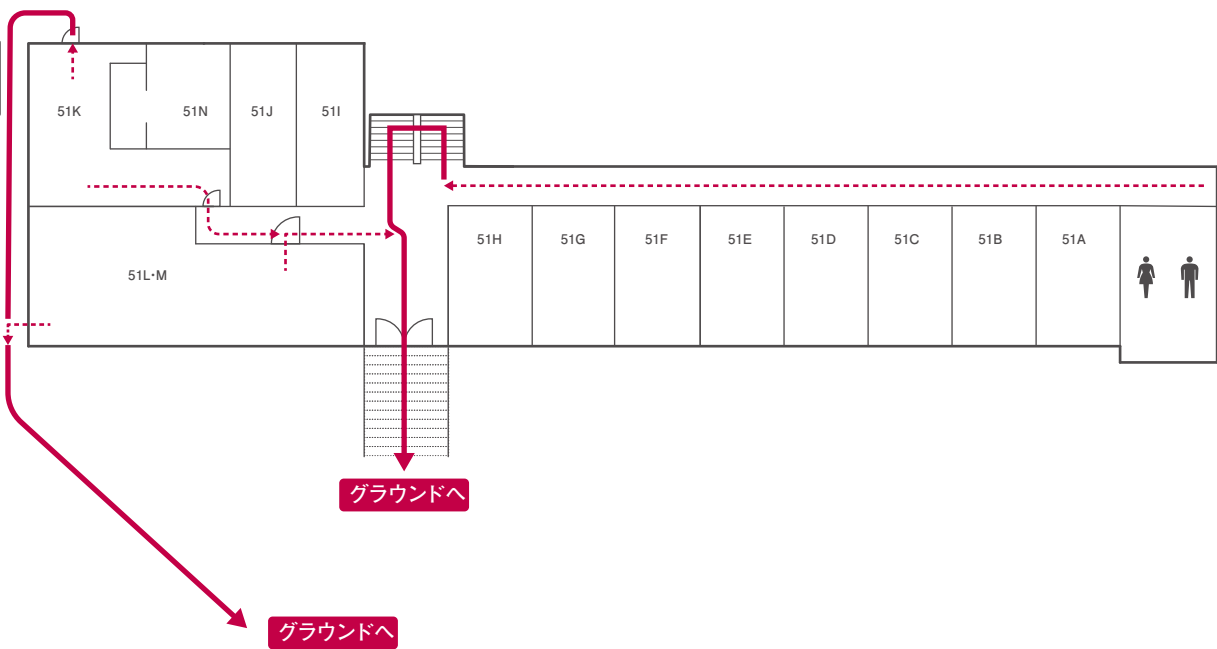
3階



2階



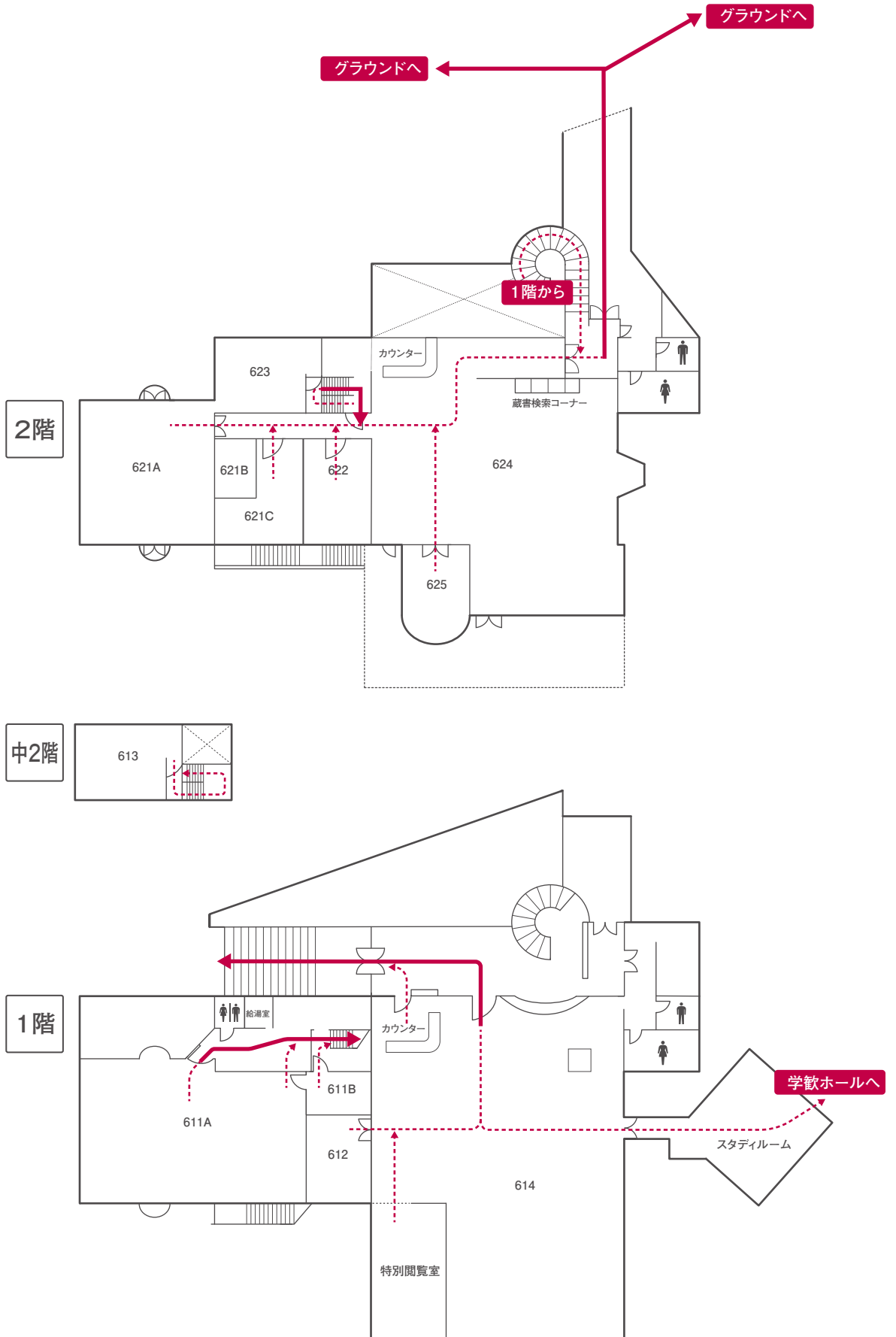
1階



6000号館

コミュニケーションセンター

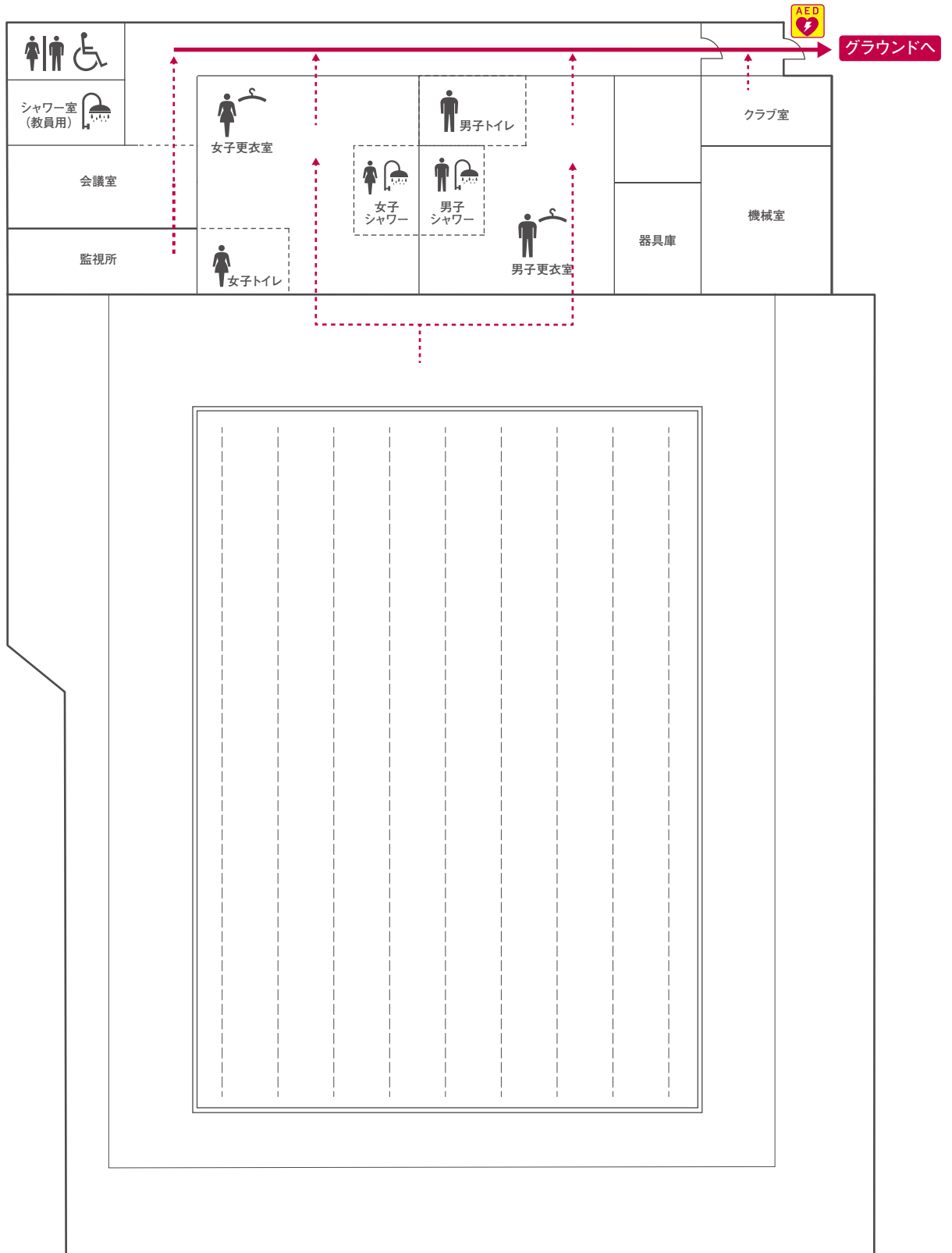
- 附属図書館 ○ 図書館長室 ○ 視聴覚室
- 人間力サブコーナー ○ 英語力サブコーナー
- オリンピックコーナー





7000号館

プール

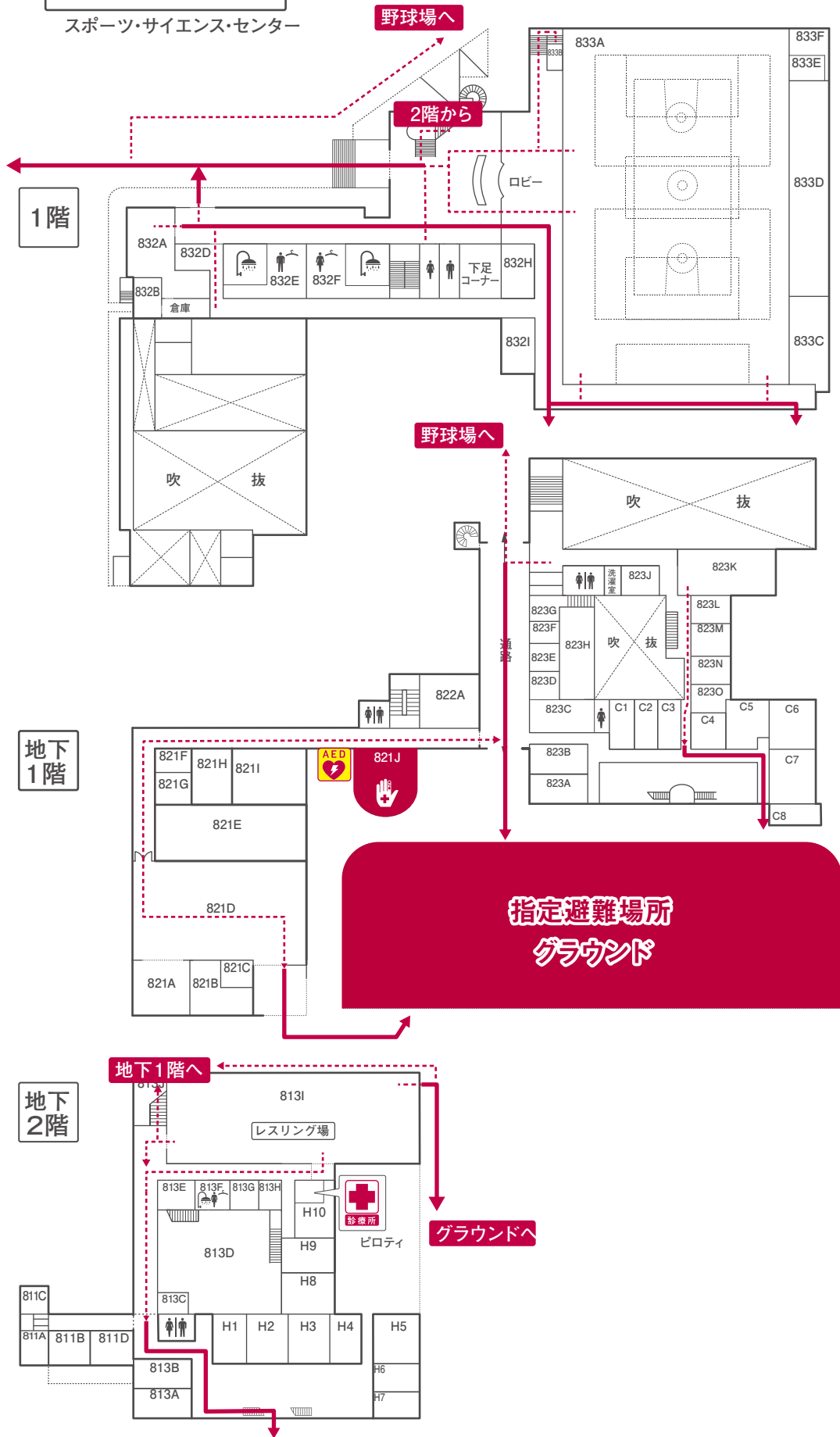




8000号館

スポーツ・サイエンス・センター

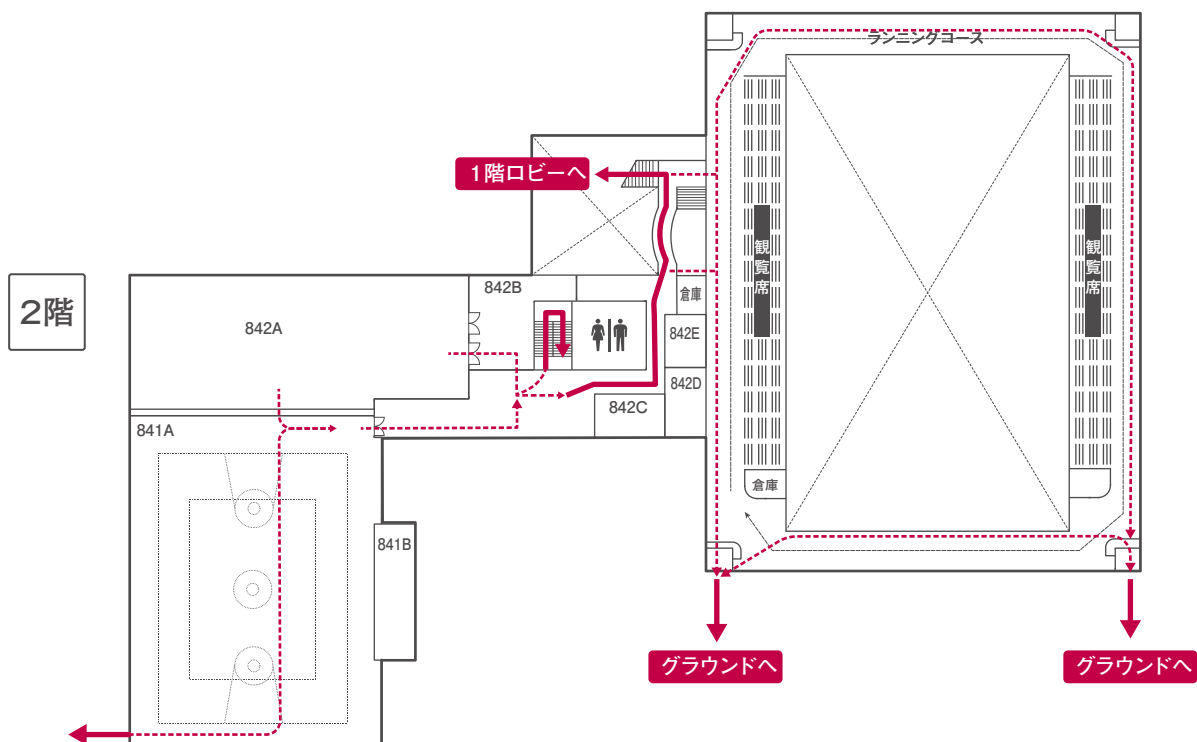
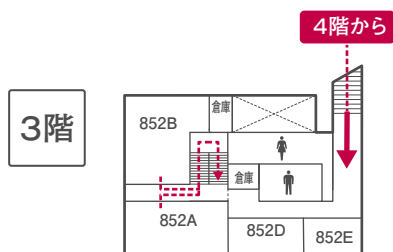
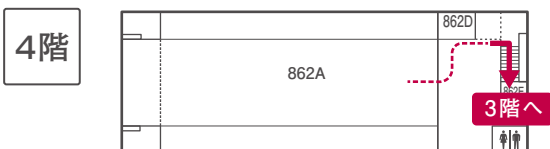
- 保健室 ○ 第1アリーナ ○ 第2アリーナ ○ 第3アリーナ
- 体カテスト室 ○ 和室 ○ 武道場 ○ 大学院事務室



8000号館

スポーツ・サイエンス・センター

- 保健室 ○ 第1アリーナ ○ 第2アリーナ ○ 第3アリーナ
- 体力テスト室 ○ 和室 ○ 武道場 ○ 大学院事務室





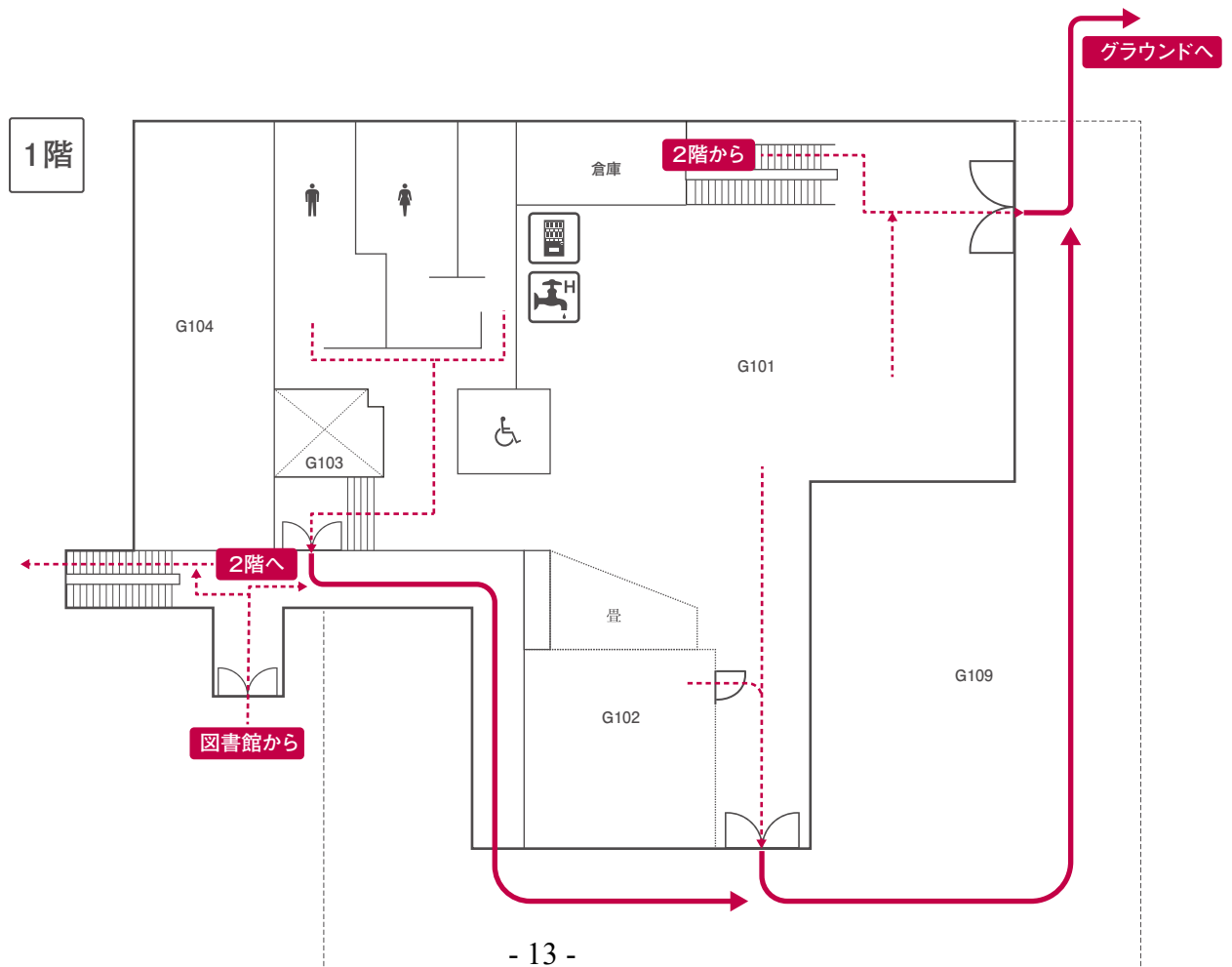
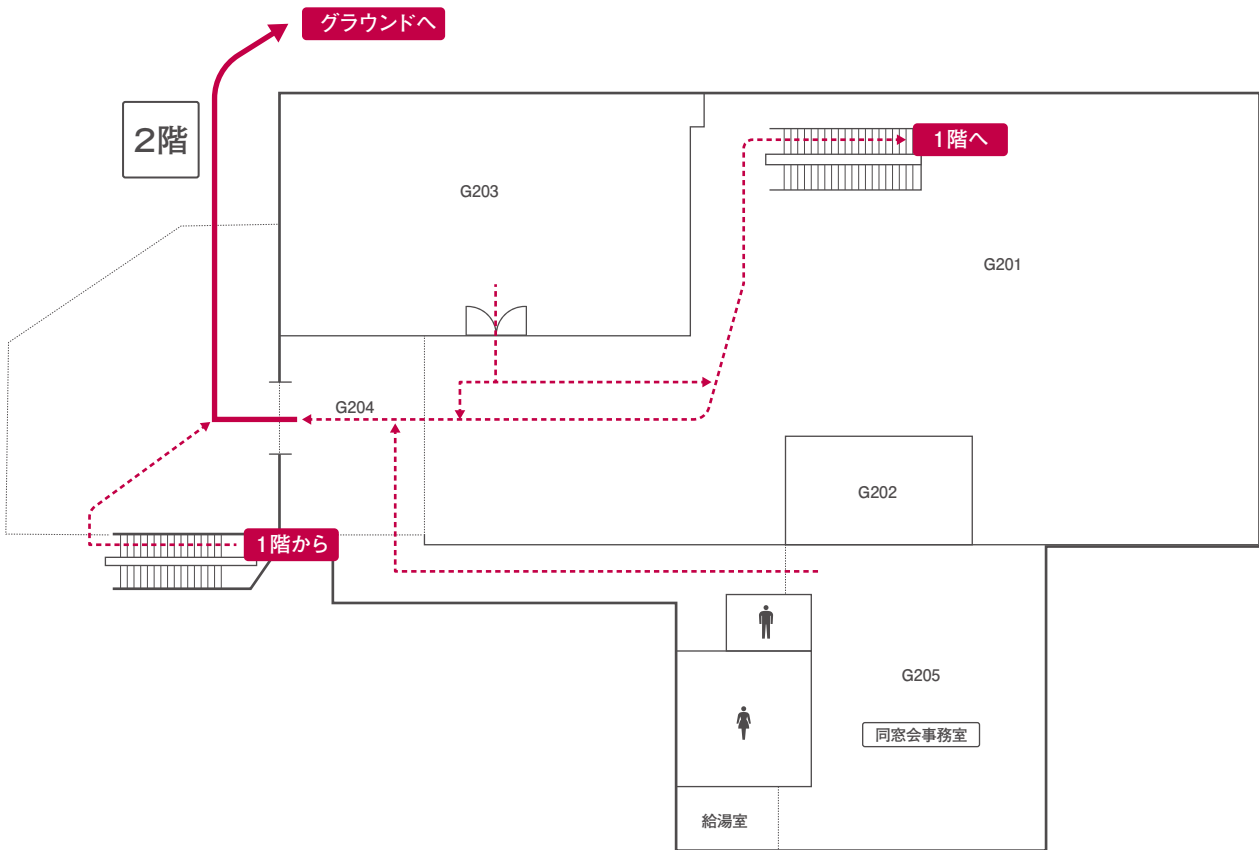
9000号館

- 学生相談室 ○ スポーツカウンセリング(氏原研究室)
- アスリートサポートセンター



学歓ホール

- コンビニエンスストア (Yショップ) ○ 同窓会事務室
- コミュニケーションルーム (英語ひろば)



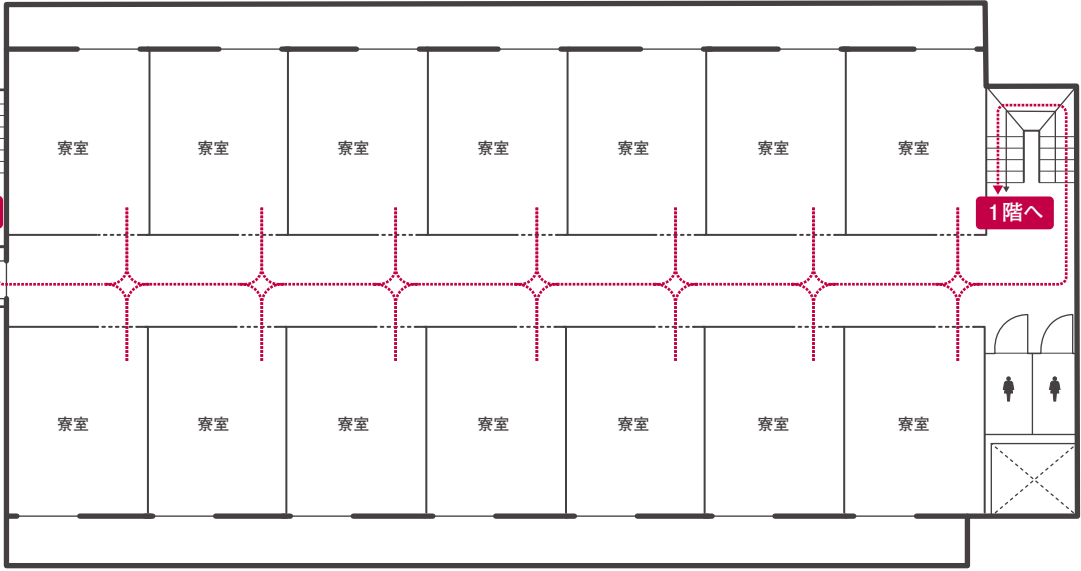
レスリング寮

- 寮室 ○ 寮母室 ○ 監督室
- 食堂 ○ 浴室 ○ シャワー室

2階

グラウンドへ

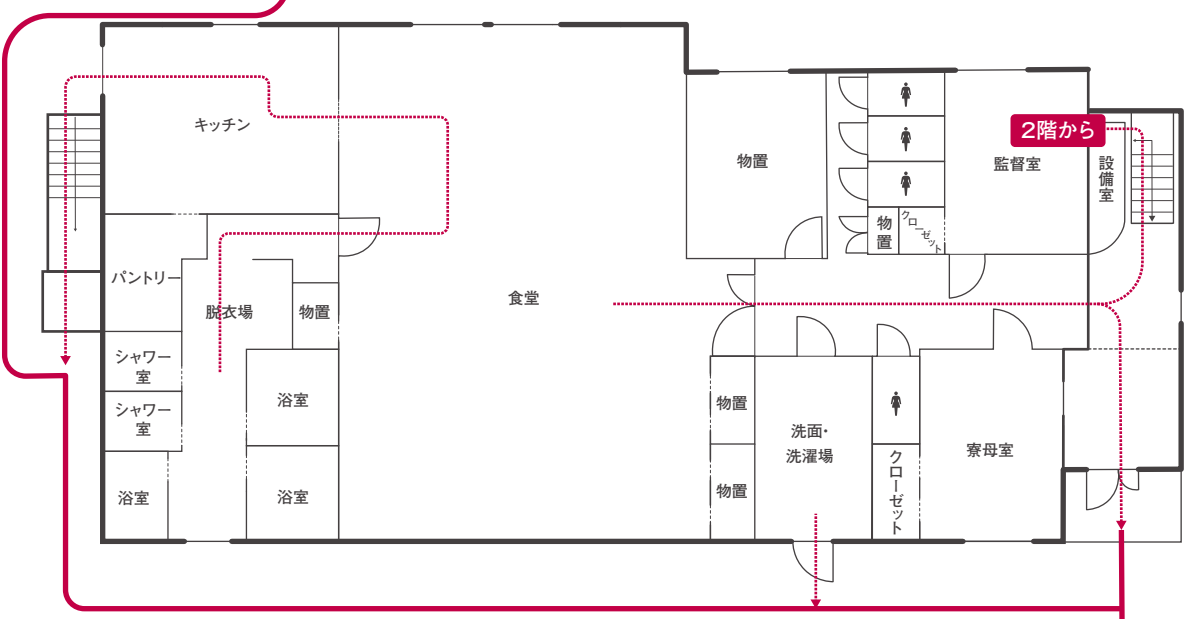
1階へ



グラウンドへ

1階

グラウンドへ



グラウンドへ

AED設置場所(学内6カ所)

A 警備室 | 内線643

B サポートセンター入口 | 外線0562-46-1291

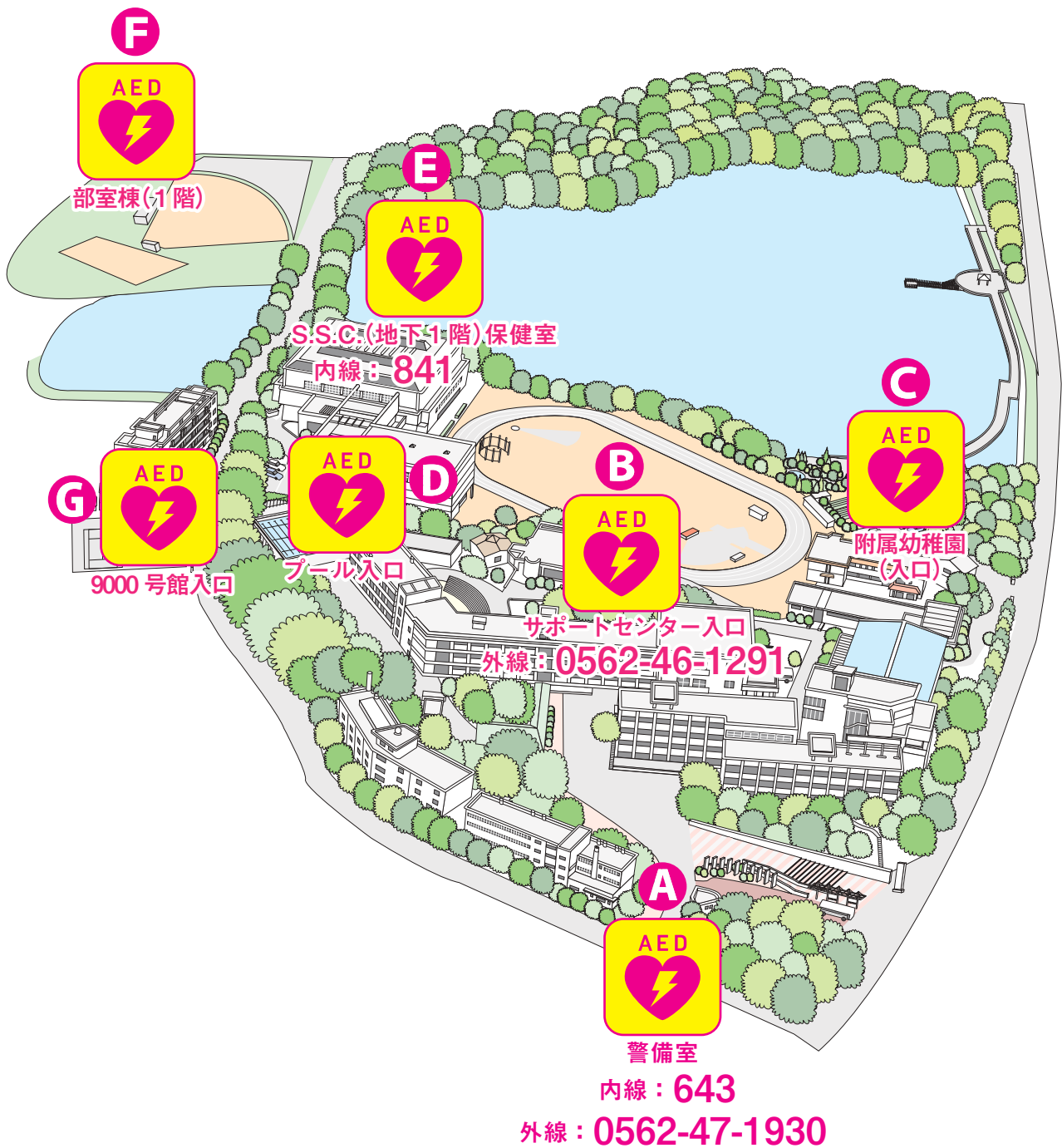
C 幼稚園入口 | 0562-46-1294

D プール入口

E S.S.C. 地下1階(保健室) | 内線841

F 更衣室のある建物の1階

G 9000号館入口



心肺蘇生法(含むAED)

日常生活中、又はスポーツ活動中に突然、呼吸や心拍が止まることがあります。

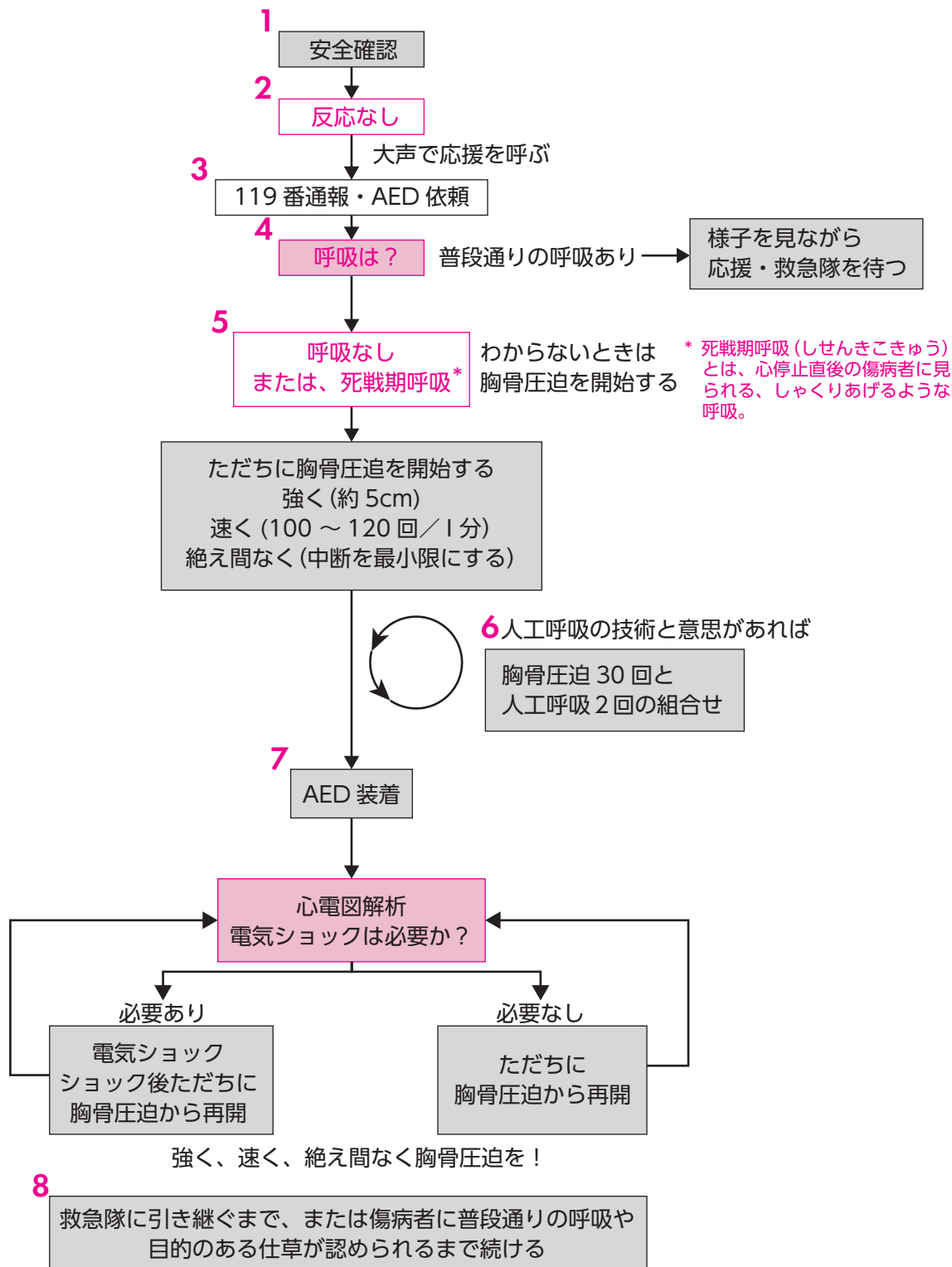
そのような場合には、もちろん 119 番通報して救急車を呼ぶことになりますが、体内の酸素は数分で枯渇してしまいます。救命できるかどうかは現場に居合わせた人による迅速な救命処置に大きく依存します。

救命処置とは、心臓マッサージとAED(自動体外式除細動器)による除細動です。

以下に、救命処置の流れを図に示しました。

主に市民が行う一次救命処置(BLS)の手順

[JRC 蘇生ガイドライン 2015 から引用]



心肺蘇生法の手順

手順 1

反応（意識があるか）を確認する

傷病者の耳もとで「わかりますか、大丈夫ですか」と大声で呼びかけながら、肩をたたき、反応の有無を見る。



手順 2

助けを呼ぶ

反応がなければ、大きな声で「誰か来て！人が倒れています！」と助けを求める。協力者が来たら、「あなたは 119 番へ通報してください」、「あなたは AED（自動体外式除細動器）を持ってきてください」と要請する。



手順 3

呼吸確認

- 10 秒以内で、
- 1) 胸や腹部の上下動を見て、
 - 2) 息の音を聞いて、
 - 3) 頬で息を感じる。



心肺蘇生法の手順

手順 4

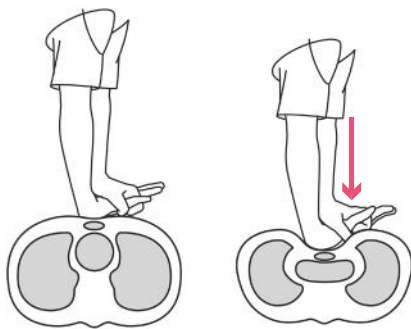
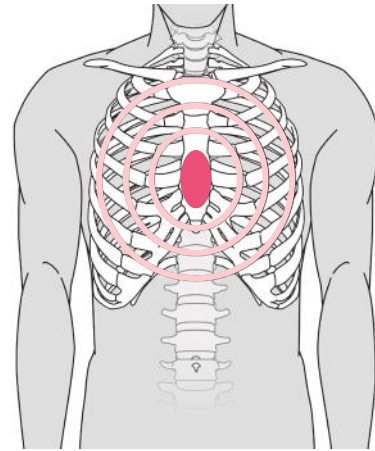
心臓マッサージ（胸骨圧迫）

胸骨の下半分（目安としては「胸の真ん中」）を、重ねた両手の付け根で「強く、速く」1分間に100～120回の速いテンポで圧迫する。

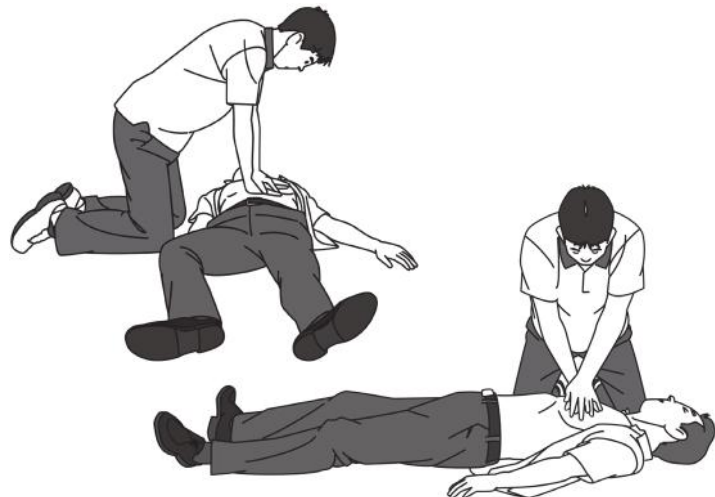
肘を伸ばして手の付け根部分に体重をかけ、成人傷病者の胸が約5cm沈むよう圧迫するが、6cmを超えないようにする。

毎回の胸骨圧迫の後で完全に胸壁が元の位置に戻るよう圧迫を解除する。

胸骨圧迫の中断を最小にする。



胸骨圧迫の方法



手順 5

救助者交代のタイミング

救助者が複数いる場合には、1～2分ごとを目安に胸骨圧迫の役割を交代する。

【注】

訓練された救助者（人工呼吸ができる場合）は、胸骨圧迫と人工呼吸を30：2をの比で行う。

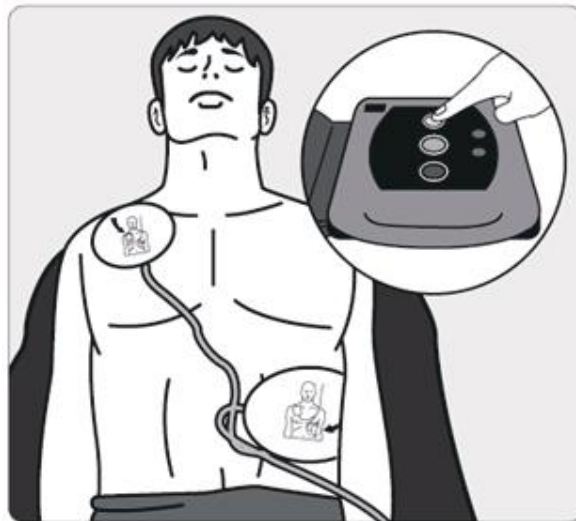
AEDの使い方

心肺蘇生を行っている途中で **AEDが届いたら、すぐにAED** を使う準備を始めます。

手順 1

AEDの準備

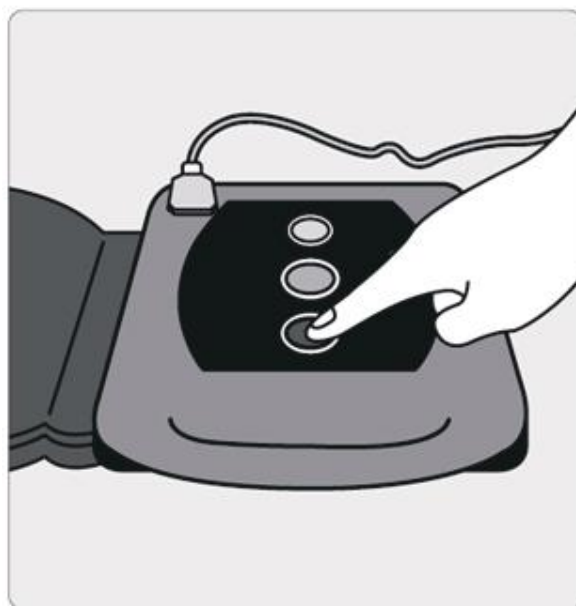
心肺蘇生を行っている途中で AED が届いたらすぐにAEDを使う準備を始めます。
電源を入れ、音声の指示と電極パッドの絵に従い、電極パッドを胸に貼り付けます。
自動的に心電図が解析され、必要があれば、「電気ショックが必要です」との音声がかかりますので、その指示に従い、「充電」、「通電(電気ショック)」と進んでください。



手順 2

AEDを通電させる

「通電(電気ショック)」の前に、傷病者に誰も触れていないのを確認してください。
電気ショックが完了すると、「ただちに心臓マッサージを開始してください」などの音声が流れますので、これに従って、心肺蘇生を再開します。
2分ほど経ったら、AEDは自動的に再度心電図の解析を行います。
音声の指示に従って、傷病者から手を離し、周りの人も傷病者から離れます。
以後は心電図の解析電気ショック心肺蘇生の再開を約2分おきに繰り返します。



至学館大学避難経路
作成 | 至学館大学総務課
令和7年4月1日 改訂